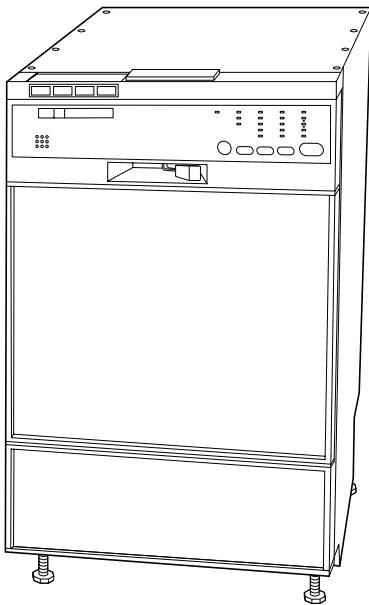
食器洗い乾燥機（家庭用）
ビルトインタイプ（幅45cm）
取扱説明書

保証書付

品名コード
パネル材タイプ　FB4504PC・FB4504PF
ドア面材タイプ　FB4504WC・FB4504WF

もくじ

ページ

1. 使用前に
安全上のご注意 ・・・・・・・・・1〜4
各部のなまえ ・・・・・・・・・・5〜6

2. 使いかた
運転前に ・・・・・・・・・・・・・・・7
食器の入れかた ・・・・・・・・・・8
いろいろな食器の入れかた ・・・・・9
じょうずな食器の入れかた ・・・・10
使用方法 ・・・・・・・・・・・11〜12
コースの選びかた ・・・・・13〜14
その他の機能 ・・・・・・・・・・・・15
各コース別の所要時間のめやす ・・16

3. 点検・お手入れ、他
お手入れのしかた ・・・・・・・・・17
専用洗剤・乾燥仕上げ剤について・・18
故障かな？と思ったら ・・・19〜21
異常報知について ・・・・・・・・・22
特定保守製品と点検 ・・・・23〜25
仕様・アフターサービス・・・・・26
保証書 ・・・・・・・・・・・・・裏表紙

ごあいさつ

このたびは、ハーマンの食器洗い乾燥機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

○この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

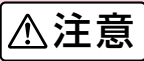
○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

特定保守製品

この製品は、消費者生活用製品安全法（消安法）で指定される「特定保守製品」です。この製品の所有者は消安法上、点検期間中に法定点検（有償）を行うことが求められています。

Tア55-03

使用前に

1 安全上のご注意

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

使用される方や、他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

区分	内容
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

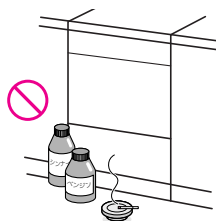
■注意・禁止内容の絵表示

指に注意	接触禁止	火気禁止	一般的な注意喚起
水ぬれ禁止	必ず行う	一般的な禁止	分解禁止
アース必要			

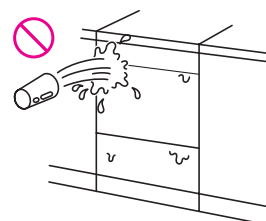
⚠警告

火気禁止

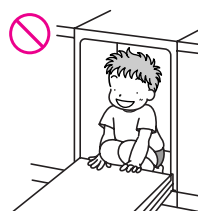
火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない

変形や火災のおそれがあります。

水ぬれ禁止

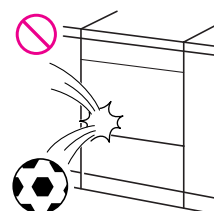
水につけたり、水をかけたりしない

感電や故障の原因になります。

注意喚起

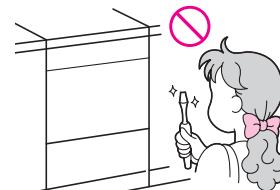
お子さまが中へ入らないように注意する

※中からドアは開きませんので、閉じこめられてしまいます。使用後は必ずドアを閉めてください。
思わぬ事故の原因になります。

禁　止

運転中は本体に衝撃を与えない

感電や漏電・ショートによる火災のおそれや機器損傷の原因になります。

分解禁止

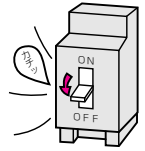
絶対に分解したり修理・改造はしない

発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
※修理はお買い上げの販売店に相談してください。

⚠警 告

必ず守る

異常、故障時には、直ちに使用を中止する

《異常・故障例》
・焦げくさいにおいがする　・電源を入れても運転しない　・運転中、異常な音がする
・ドアの開閉動作に異常がある　・本体が変形したり、異常に熱い

発煙、発火や、感電、漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。
※すぐに使用を中止し、ブレーカー（機器用）を切り、お買い上げの販売店に、必ず点検・修理を依頼してください。
（水漏れ不良の場合、ポンプを稼働し、強制的に排水しますので、ポンプの排水音がします。ブレーカー（機器用）を切る前に、必ず止水栓を閉めてください。）
※製造番号が必要な場合は、扉を開けた天井面の銘板を確認してください。

必ず守る

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火し、火災に至ることがあります。

禁　止

電源コードを傷付けたり・無理に曲げたり・引っ張たり・ねじったり・たばねたり・高温部に近づけたり・重い物を載せたり・挟み込んだり・加工したりしない

電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

必ず守る

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

火災の原因になります。

アースする

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店に相談してください。

必ず守る

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

電源は交流100V専用コンセントを使用する

火災・感電の原因になります。

禁　止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

接触禁止

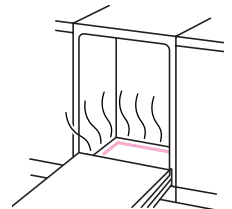
運転中または、運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターにふれない

食器の取り出し、残さいフィルターの掃除・お手入れは、運転終了後30分以上経過してから行う

食器の取り出し、フィルターの掃除・お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをするおそれがあります。

安全上のご注意

⚠注 意

注意喚起

機器を給湯器に接続して高温で使用する場合、他の水栓からも高温のお湯が出るため注意する
やけどをするおそれがあります。

必ず守る

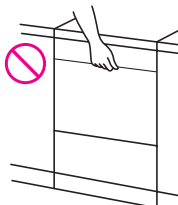
推奨専用洗剤以外は使用しない（P18『専用洗剤について』参照）
・台所用液体洗剤は使用しない。泡が大量発生して正しく作動せず、故障の原因になります。
・石けん成分入りの食器洗い乾燥機専用洗剤を使用しない。洗いあがりが悪くなる場合があります。
・重曹は使用できません。重曹が固まり、故障の原因になります。
・ジェル・液体の食器洗い乾燥機用洗剤は使用できません。

必ず守る

点検期間中に法定点検を受ける（P23『特定保守製品と点検』参照）
経年劣化による火災・けがのおそれがあります。
・使用の前に必ず所有者登録を行ってください。
　点検期間になりましたら当社からご案内を送付します。

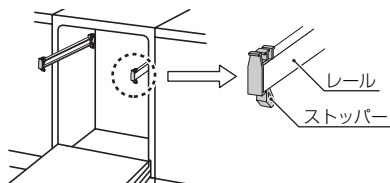
禁　止

運転中は、ドアを開けない
高温の洗浄水や湯気で、やけどをするおそれがあります。
食器の追加など、やむをえずドアを開ける場合は、必ず【スタート／一時停止】スイッチを押してください。

禁　止

排気口付近には近づかない
湯気・温風によりやけどをするおそれがあります。

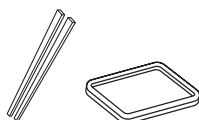
必ず守る

上かごをレールに挿入（セット）した後は、必ずストッパーをセットする
（P5『ストッパーの取り付けかた』参照）
セットを忘れると、上かごを引き出したときレールからかごが外れ、食器の破損やけがの原因になります。

指に注意

ドアを閉めるとき指の挟み込みに注意する
けがをするおそれがあります。

禁　止

割りばしや、プラスチック容器のふたなど軽くて小さい食器を洗浄しない
ヒーターの上に落ちた場合、発煙や故障の原因になります。

禁　止

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない
やけど・けがをするおそれがあります。

禁　止

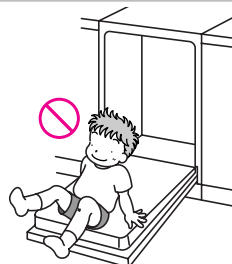
バケツや洗いおけなどで水を入れない
水漏れの原因になります。

必ず守る

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火し、火災に至ることがあります。

禁　止

開いたドアに乗ったり、強い力をかけたりしない
破損や、変形の原因になります。

指に注意

ドアとドア面材の間に指を入れない
（FB4504WC・FB4504WF）
けがをするおそれがあります。

禁　止

食器洗浄・乾燥以外の用途には使用しない
やけど・けがをするおそれがあります。

禁　止

テレビ・ラジオなどの家電製品の近くで使用しない
映像の乱れや雑音の原因になります。

お願い

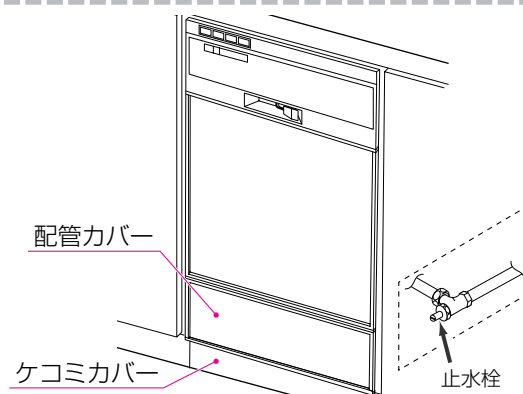
■寒冷地の別荘などで、冬季に使用しないお客様へ

万一凍結してそのまま放置されると、給水弁や配管などの破損の原因になります。
水抜き作業が必要なため、お買い上げの販売店または、お近くの水道施工業者に相談してください。
※凍結のおそれのある場所（室温0℃以下）へは設置しないでください。

■購入後、しばらくは使用中に機器（ゴムや樹脂）のにおいがする場合があります。

■井戸水などは、不純物などが多く含まれる場合があり、故障の原因になる場合があります。

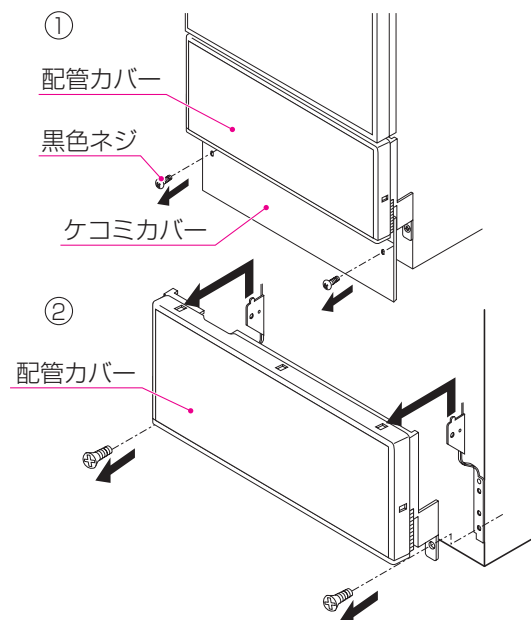
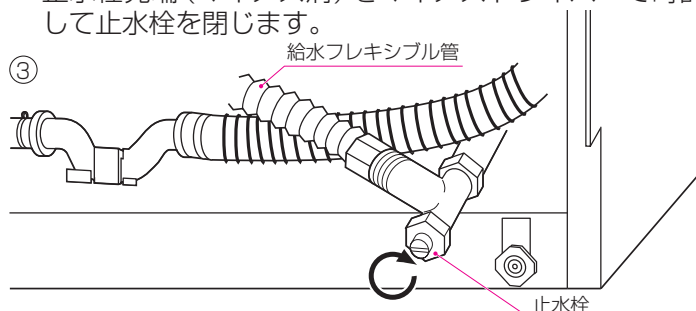
■止水栓の場所

・止水栓は、通常機器を設置している配管カバー・ケコミカバーの中にあります。（止水栓を閉じるためにマイナスドライバーが必要です。）
・ドア面材タイプ（FB4504WC・FB4504WF）はドア面材の取り外しが必要のため、販売店もしくは施工店に連絡してください。
・止水栓の場所がわからない場合は、販売店もしくは施工店に連絡してください。

例）止水栓位置
（FB4504PC・FB4504PFの場合）

・止水栓を閉じる方法　※配管カバー内に止水栓がある場合

①ケコミカバーを外します。
ケコミカバーを取り付けている2箇所の黒色ネジをプラスドライバーで外します。

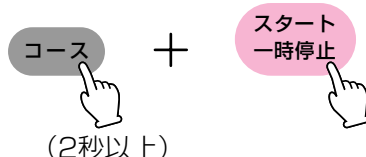
②配管カバーを外します。
下部の2箇所のネジをプラスドライバーで外して、配管カバーを上部穴ひっかけ部から外します。

③止水栓を閉じます。
止水栓先端（マイナス溝）をマイナスドライバーで時計回りに回して止水栓を閉じます。

禁止

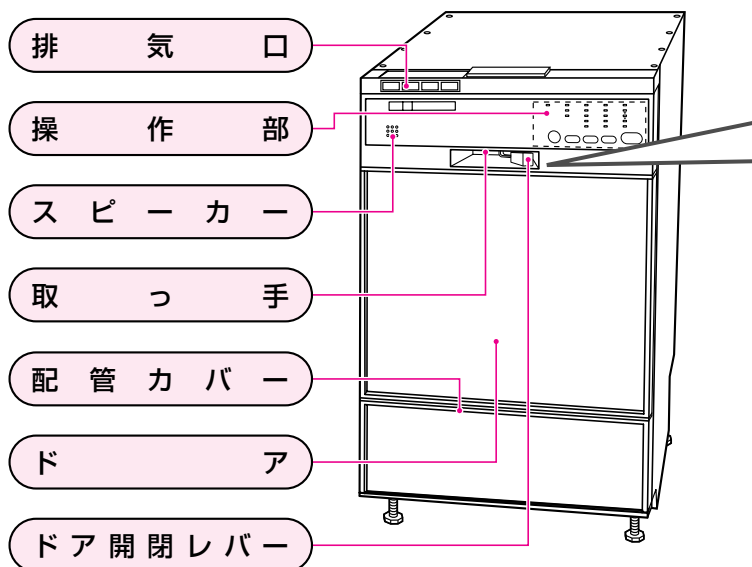
試運転チェック機能は使用しないでください。

電源スイッチが『切』の状態で、コーススイッチを2秒以上押し続けながらスタートスイッチを押すと、施工者が運転確認するために行う『試運転チェック機能』になり、機器が運転状態に入ります。

万一、押してしまった場合は スイッチを押し、電源を『切』にしてください。

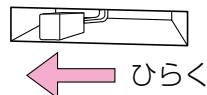
使用前に

1 各部のなまえ

■外観図

FB4504PC・FB4504PF（パネル材タイプ）
FB4504WC・FB4504WF（ドア面材タイプ）

※ドアはPC・PFタイプ・WC・WFタイプでデザインが異なります。

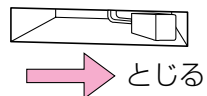
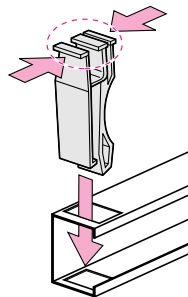
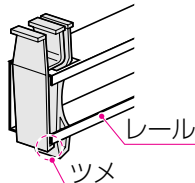
ドアの開閉のしかた

開けかた

①ドア開閉レバーを『ひらく』の位置にする。
②取っ手を持ち、手前側に引く。

閉めかた

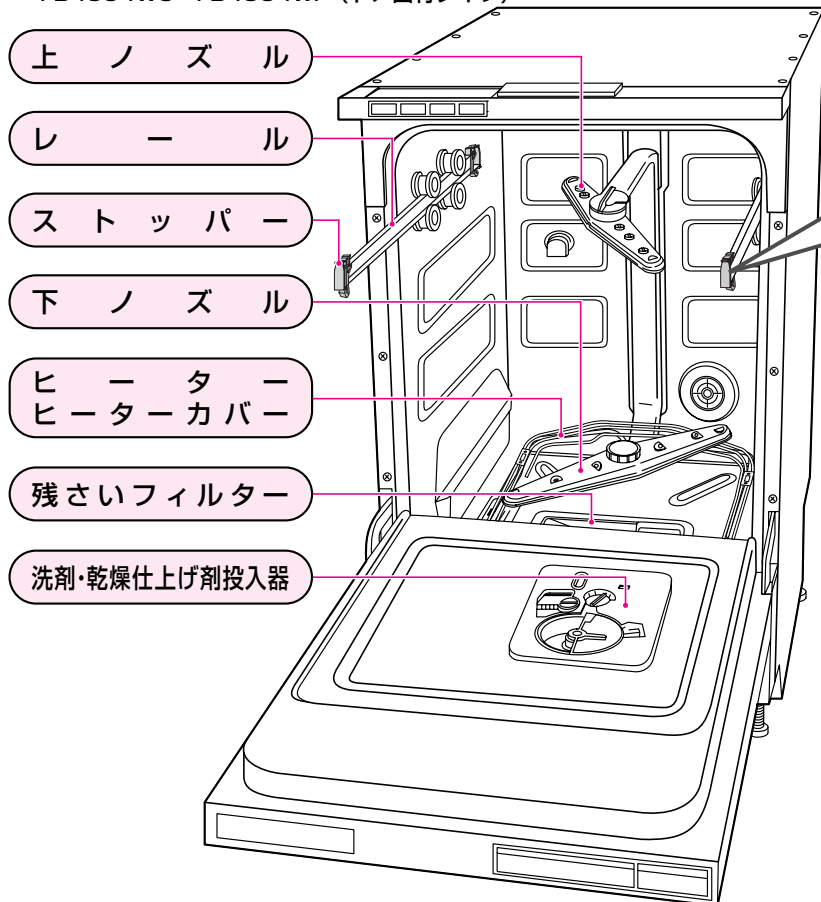
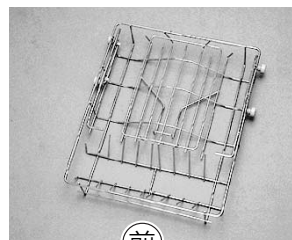
①ドアを閉める。
②ドア開閉レバーを『とじる』の位置にする。

■内観図

FB4504PC・FB4504PF（パネル材タイプ）
FB4504WC・FB4504WF（ドア面材タイプ）

ストッパーの取り付けかた

● ストッパーはツメが確実にレールに入っていることを確認してください。

※取り外しかたは逆の手順で行ってください。

上かご

下かご

■操作部

ロックランプ

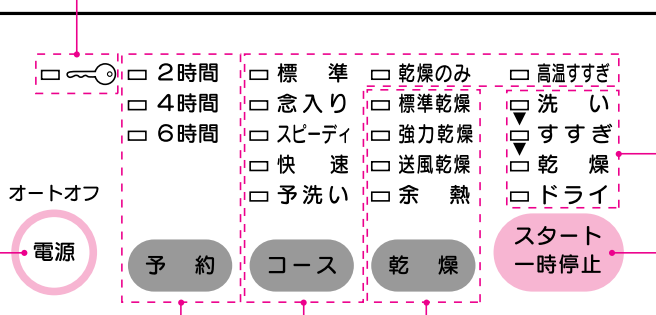
ロックをしているときに点灯します。
（ロックについて：☞11ページ参照）

進行表示ランプ

運転中の状態をランプの点滅でお知らせします。終了した行程のランプは消灯し、現在運転中の行程ランプが点滅します。
（ドライ運転について：☞12ページ参照）

電源スイッチ

機器を運転させたいときに押します。
運転が終了すると自動的に電源を『切』にします。（オートオフ機能）
※スタートせずに放置していると、約10分後に電源をオフします。

・電源オフ状態でも常時水漏れを検知するために、約2Wの電力を消費しています。

スタート／一時停止スイッチ

運転開始（スタート）させたいときおよび、機器を一時停止させたいときに押します。
※ 2秒以上連続して押すと、『ロック』となり全てのスイッチ操作が出来なくなります。

オートオフ
電源
□ 2時間
□ 4時間
□ 6時間
予　約
□ 標　準
□ 念入り
□ スピーディ
□ 快　速
□ 予洗い
コース
□ 乾燥のみ
□ 標準乾燥
□ 強力乾燥
□ 送風乾燥
□ 余　熱
乾　燥
□ 高温すすぎ
□ 洗　い
□ すすぎ
□ 乾　燥
□ ドライ
スタート
一時停止

予約スイッチとランプ

予約時間を設定したいときに押します。
（予約のしかた：☞14ページ参照）

コーススイッチとランプ

食器の汚れ具合などに応じて、コースの選定をかえたいときに押します。
（洗浄コースの選びかた：☞13ページ参照）

乾燥スイッチとランプ

乾燥方法や乾燥時間をかえたいときに押します。
（乾燥モードの選びかた：☞14ページ参照）
（乾燥方法（乾燥モード）について
知って得するメモ：☞13～14ページ参照）
（各コース別の所要時間のめやす：☞16ページ参照）

■付属品

・取扱説明書（保証書付）
・ご使用ガイド
・所有者票
・工事説明書

・専用洗剤（試供品）
・乾燥仕上げ剤

使いかた

2 運転前に

1 洗える食器かどうか確認する。

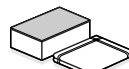
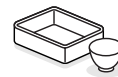
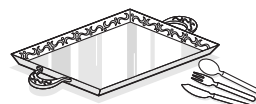
庫内に入れてはいけないもの

⚠注意

洗浄水の噴射で飛ばされやすい軽いものは入れない

食器や調理器具以外のものは入れない

ヒーターカバーの上に落ちると、発火・発煙・焦げ・溶け・においの原因になります。

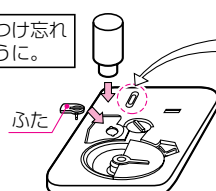
わりばし
ふきん、スポンジ

哺乳瓶の乳首
プラスチック容器

発泡スチロールの容器
プラスチックの スプーン、フォーク
耐熱90℃以下のプラスチックのもの（耐熱表示のないもの） まな板　汁わん　プラスチック容器 変形します。	カットガラス、クリスタルガラス、強化ガラス、傷ついたガラス食器 白く濁ったり割れたりします。	銀製・洋銀製食器など 金色に変わり、その後黒くなります。

アルミ製の鍋や銅製の食器 変色します。（アルミ製は白くなり、その後灰色に変色します。）	鉄製の包丁、フライパン 錆びることがあります。	フッ素樹脂加工を施したフライパンなどで、表面に傷やはがれがあるもの コーティングがはがれることがあります。	びん、徳利などの食器 口の小さいものは中が洗えません。

ひびの入った食器、貫入食器（ひび割れ模様の食器） 変色したり、ひびが入った食器は割れるおそれがあります。	漆塗り食器、重箱、金箔入の食器、木製のわん はがれたり、割れるおそれがあります。	ステンレスなどの金属痕のつきやすい食器（素焼きやうわぐすりのとれかけた食器など） 食器に灰色・黒色・銀色などの線が付着します。（線が付着した場合は19ページを参照してください。）

2 使いはじめのときに、乾燥仕上げ剤を入れてください。

・残量表示が「空」になったら入れてください。
（毎回入れる必要はありません。）

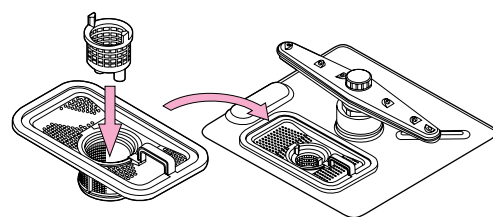
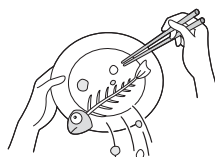
※ふたをつけ忘れないように。

ふた

残量表示

空　EMPTY

満　ＦＵＬＬ

3 残さいフィルターが正しくセットされていることを確認する。

4 食器の残さいを取り除く。

【落ちない汚れ】 ・手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。あらかじめ、手洗いでこすり落としてから入れるか、手洗いにしてください。

（例）・グラタンなどの焼きつき　・茶碗蒸しのこびりつき　・鍋の焼けこげ　・口紅の汚れ

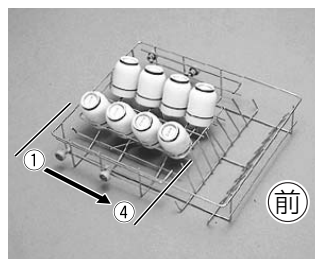
使いかた

2 食器の入れかた

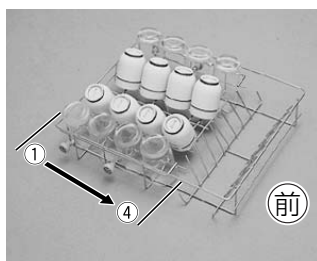
標準的なセット例

・食器の内面を下図のように矢印方向に向けてセットしてください。
　※食器の入れ方によっては、ステンレスかごとのこすれにより、食器に色がつく場合があります。

上かご

1. 湯のみを入れる

湯のみをななめにかたむけ、湯のみどうしをはなして、奥側より手前に向かって順番に入れる

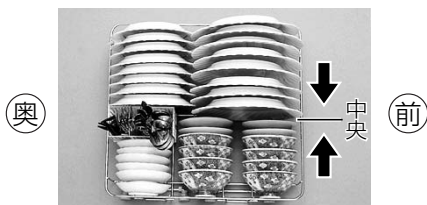
（湯のみの高さ：9cm以下）

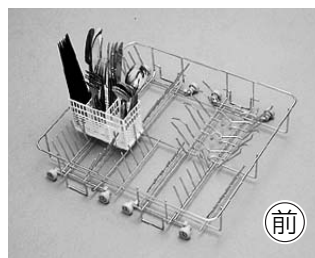
2. コップを入れる

コップをななめにかたむけ、コップどうしをはなして、奥側より手前に向かって順番に入れる

（コップの高さ：12cm以下）

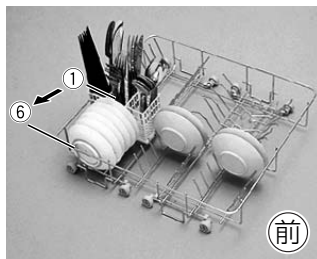
3. 汁わんを入れる

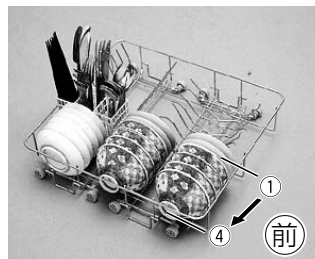
中央より外側に向かって順番に入れる

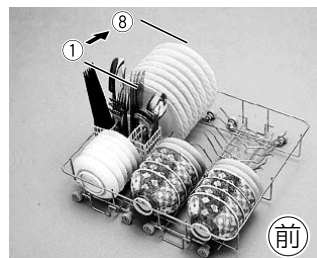
下かご

※前側と奥側を間違って機器に入れると、きれいに洗えないときがあります。

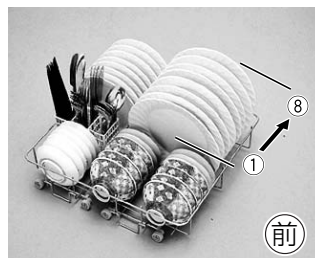
1. はし・スプーンなどを入れる

はし・スプーンなどがひっつかないように入れる

（小物の長さ：24cm以下）

2. 小皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる

3. 茶わんを入れる

中央（小皿側）より外側に向かって順番に入れる

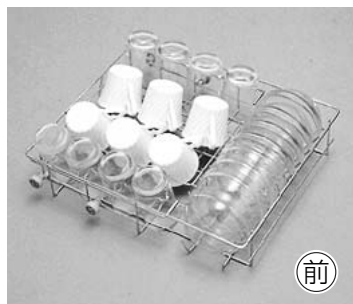
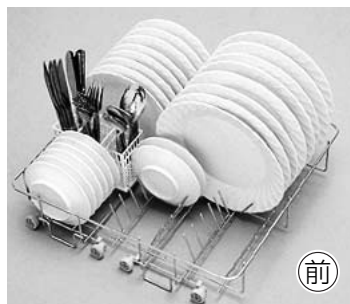
4. 中皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる

5. 大皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる

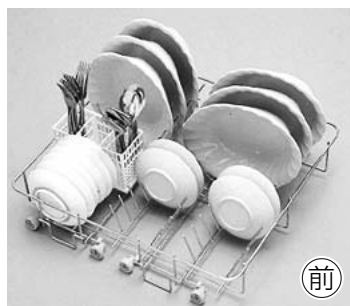
（大皿の高さ：26cm以下）

使いかた

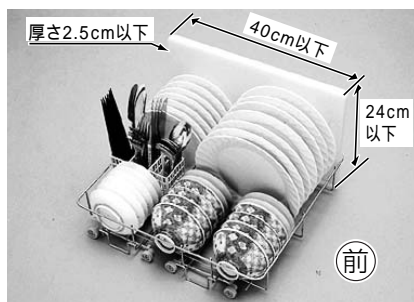
2 いろいろな食器の入れかた

モーニングセットの例

上かご	サラダ鉢 コップ コーヒーカップ	下かご	大皿 中皿 コーヒー皿 ナイフ フォーク スプーン

ラーメンの例

上かご	小鉢 コップ 湯のみ	下かご	ラーメン鉢 茶わん 小皿 はし れんげ

カレーの例

上かご	コップ 湯のみ サラダ鉢	下かご	カレー皿 小皿 スプーン フォーク

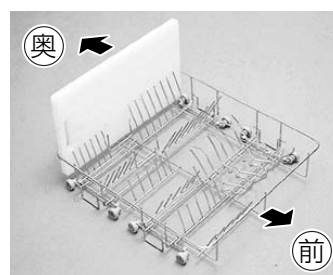
まな板を入れる場合

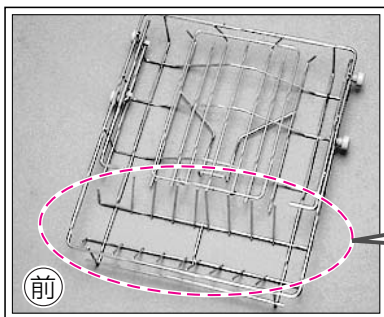
・汚れている面を内側にしてセットする。
まな板は大皿、中皿の外側に入れる。
大皿・中皿は1枚ずつ減ります。

※木製のまな板は割れ目が入ったり、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合があるため、耐熱温度90℃以上のプラスチック製のものをおすすめします。

⚠注意

まな板をかごの奥に、横に向けて入れない

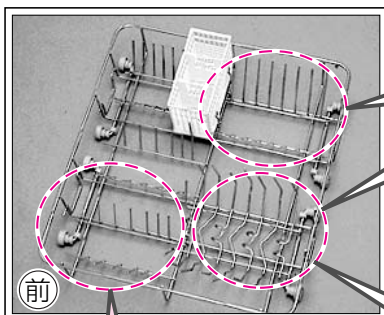
洗浄槽内の部品に当たり、部品の破損や、部品の落下のおそれがあります。

使いかた

2 じょうずな食器の入れかた

上かご

サラダ鉢など

・サラダ鉢など、深いわんは、上かごの汁わんを入れる所にセットするとうまく入ります。

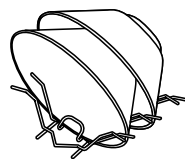
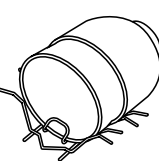
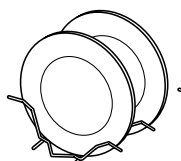
直径が12cmをこえるわん類は、下かごの茶わんを入れる所にセットします。

下かご

ラーメン鉢・カレー皿など

・大皿・中皿を入れる所にセットします。

中央の折り曲がったワイヤーに器の縁を入れるとうまくセットできます。

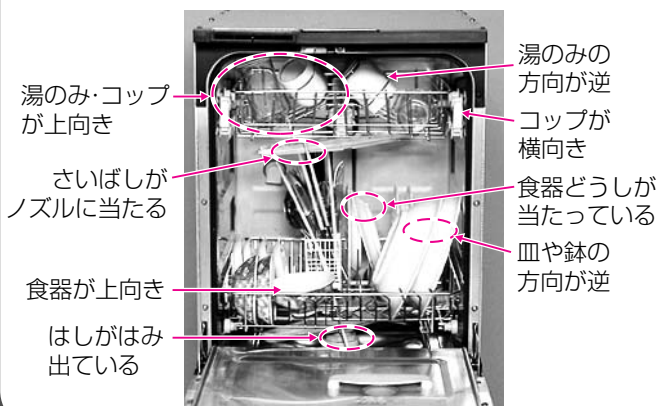
大皿・どんぶり鉢など

・大皿やどんぶり鉢・うどん鉢などの深い食器は、下かごの手前側(大皿を入れる所)にセットする。

中央の折り曲がったワイヤーに器の縁を入れるとうまくセットできます。

直径26cmまで入ります。

コップ・グラス

・高さの高いコップ・グラス(高さ12cmをこえるとき)は下かごの茶わん・中皿を入れる所にセットする。

○食器セットの悪い例

○調理器具などのセット例

食器の取り出しかた

・入れるときの逆の順序で、また皿や茶わんは1枚ずつ外側から取り出してください。
まとめて取り出したりすると、食器と食器などが当たって、欠けることがあります。
(詳細は、8ページの逆の手順で行ってください)

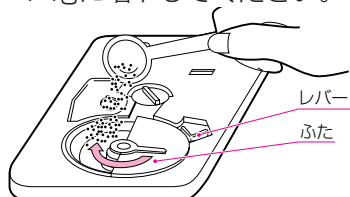
食器を入れるときのお願い

・湯のみ・コップどうしをはなして、セットしてください。
※接触部分がきれいに洗えない場合があります。
・食器は、ワレ・ヒビなどが発生しないように、食器と食器があたらないようにセットしてください。
・特にガラス食器はていねいに取り扱ってください。
・包丁などの刃物は、刃先でかごにキズをつけないよう上に向けて入れてください。

2 使用方法

1. 食器をセットし、専用洗剤を入れる

①かごを引き出して、食器をセットしてください。
（☞ 8〜10ページ参照）

②専用洗剤を入れてください。
（洗剤の量　約9g）
・油汚れの多い場合は、洗剤を約14gに増やしてください。

タブレットの専用洗剤を使用する場合は、2個入れてください。
（フィニッシュタブレットの場合）
※ふたが閉まらない大きなタブレットは使用できません。

③ふたを閉めてください。
※閉め忘れると食器をきれいに洗えない場合があります。

⚠注意

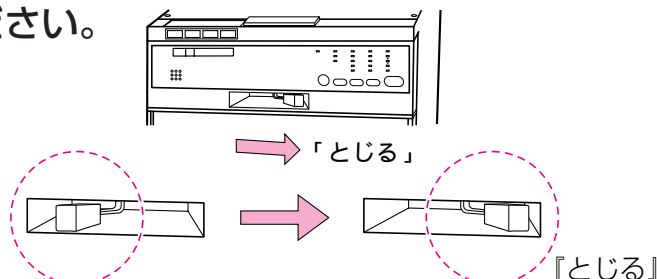
ふたを開ける場合は、レバーを操作する
無理にふたを開けようとすると、故障の原因になります。

④給湯器の電源を『入』にし、60℃設定にしてください。
※給水接続の場合は除く。

⚠警告

他の給湯栓のお湯の温度に注意する
60℃のお湯が出てやけどするおそれがあります。

2. ドアを閉め、スタートさせる

①ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にしてください。

②【電源】スイッチを押してください。

音声：『電源が入りました。コースを選択し、スタートスイッチを押してください。』

【電源】スイッチを押すと自動的に前回使用したコースにセットさせています。
（コースメモリー：下記 一口メモ 参照）

③洗浄コース、乾燥モードを選択してください。
（☞ 13〜14ページ参照）

④【スタート／一時停止】スイッチを押してください。

音声：『運転しました。時間はおよそ○○分です。』
（選択コース、気温などにより「○○」分は変わります。）
（☞ 16ページ参照）

※レバーが中間位置にある場合【スタート】スイッチを押しても運転しません。
音声：『ドアレバーを閉めてください。』

一口メモ

■コースメモリー（記憶）について
・前回運転したコースを記憶する機能です。電源を『入』にすると自動的に前回運転したコースに設定されます。
※いつも同じコースを使う場合はコースを選ぶ必要はありません。

■ロックについて
・運転中にスイッチ操作を受け付けないようにする機能です。小さなお子様のいたずらによる、運転などを防止できます。
※運転が終了するとロックは解除されます。

ロックのセット
・運転を開始するとき、または一時停止中

運転が開始します。

ロックの解除
・運転中

一時停止状態になります。再度【スタート／一時停止】スイッチを押し、運転を開始させてください。

3. 運転終了

・終了ブザーが鳴って運転終了です。

音声：『**運転が終わりました。ドライ行程に入ります。**』

（※『ドライ行程に入ります。』は「ドライ」が設定されている場合のみ報知します。）

※『ドライ』運転は約2時間運転しますが、いつでも食器は取り出せます。
『ドライ』運転については下記 参照。

終了報知・終了ブザーを消したいときは 15ページを参照してください。

お願い

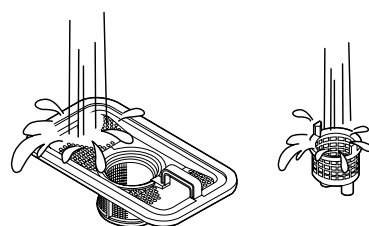
食器は終了ブザーが鳴って約30分以上おいて、庫内が冷えてから取り出してください。

※予約運転で運転が終了した場合、終了報知は行いません。

4. 後始末をする

・残さいフィルターの掃除。

運転終了後、30分以上おいて庫内が冷えてから行ってください。

① **残さいを捨て、残さいフィルター（大・小）を洗ってください。**

フィルター（大）　フィルター（小）

② **本体に必ず元通りセットしてください。**

※残さいフィルターを外したとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
（セット方法：7ページ参照）

一口メモ

■ドライ運転について

ドライ運転が設定できるコース
・標準　・念入り　・スピーディ

・設定コース運転終了後、約2時間の間欠送風の繰り返しを行います。
コース運転後、長時間食器をそのままにしておく場合に食器を"カラッ"と保管できます。

ドアを開けると『ドライ』運転は終了します。

■ドライ運転の解除とセット

①【電源】を『切』にする。

②【コース】スイッチを押しながら、【電源】スイッチを押す。

③ ドライ運転解除の場合

音声：『**ドライ行程を解除しました。**』

ドライ運転セットの場合

音声：『**ドライ行程をセットしました。**』

使いかた

2 コースの選びかた

1. 【電源】スイッチを押す

・【電源】スイッチを押すと、前回使用したコースにセットされます。

2. 洗浄コースの選びかた

・【コース】スイッチを押して、コースを選びます。
スイッチを押すごとに、下図のようにランプが変わりコースを選べます。

標　準 → 標準+高温すすぎ → 念　入　り → 念入り+高温すすぎ → スピーディ → スピーディ+高温すすぎ → 快　速 → 予　洗　い → 乾燥のみ → 標　準

・コースの選びかた

標　準	念入り	スピーディ
・ふつうの汚れのとき ・食後、すぐに洗うとき	・がんこな汚れのとき ・中華料理など油分の多い汚れのとき ・食後、数時間してから洗うとき	・かるい汚れを短時間で洗うとき （加熱すすぎの温度が低いのと、乾燥時間が短いため、乾燥終了後、多少水滴が残る場合があります。）
快　速	**乾燥のみ**	**予　洗　い**
・かるい汚れ（パン食など）、つけおき、またはかるくすすいだ食器を洗うとき （湯すすぎ乾燥行程がありませんので食器をすぐに使う場合は、標準コースを選択してください。）	・手洗いした後、乾燥のみを行うとき ・食器をあたためるとき （乾燥のみ運転を使用する場合、週に一回程度予洗い運転を行ってください。(水滴に含まれる不純物で洗浄槽が汚れたり、においの原因になります。)）	・あとでまとめ洗いするのに前もって大まかな汚れを落としておきたいとき

高温すすぎ	・雑菌のつきやすいまな板や包丁をあらうとき

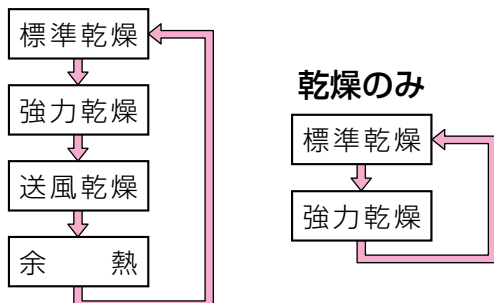
知って得するメモ

・**標準乾燥モード**
洗浄コース、乾燥のみコースのとき通常はこのモードを選びます。運転状況に応じて、ドライとの組み合わせを選んでください。

・**強力乾燥モード**
洗浄コースで標準乾燥モードでは、乾き具合が十分でないときこのモードを選びます。運転状況に応じて、ドライとの組み合わせを選んでください。

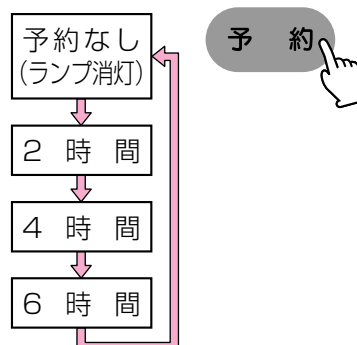
・**ドライ機能**
乾燥運転後、さらに間欠送風を行い庫内の換気を行います。洗浄運転後も長時間食器を入れたままの状態にするときは、食器や庫内の結露の防止や庫内の臭いのこもりを緩和します。

3. 乾燥モードの選びかた

・【乾燥】スイッチを押して、目的に応じた乾燥モードを選びます。
スイッチを押すごとに、下図のようにランプが変わり乾燥モードを選べます。

※快速コース、予洗いコースには乾燥行程はありません。

洗浄コースを選択後乾燥モードを選んでください。

4. 予約のしかた

〔標準・念入り・スピーディコースのみ〕
・洗浄運転を開始するまでの時間をスイッチを押して選びます。
スイッチを押すごとに下図のようにランプが変わり予約時間を選べます。

上手な予約運転
深夜電力運転契約を行っていただき、深夜電力時間帯に食器洗い乾燥機が、運転するように予約時間をセットしておくと、電気代を節約できます。
夕食の時間が個々まちまちのときでも、深夜に予約運転をセットしておくと、朝には食器がきれいに洗い上がります。
(個々食事が終わるごとに食器をセットしていただいてかまいません。)

5. 運転開始

・【スタート／一時停止】スイッチを押します。

※運転が開始されると進行表示ランプが点滅します。

[予約時間を選択した場合]
1. 予約時間ランプが点滅し、予洗い運転が開始されます。(コース・乾燥・進行表示ランプは点灯)
2. 予約時間経過後、洗浄運転が開始され、進行表示ランプが点滅します。

- **送風乾燥モード**
乾燥行程に入ると、ヒーターを作動させずに送風のみ行って食器を乾燥させます。乾燥時間は長くかかりますが、電気代が少なくなります。夜に運転をさせ、朝まで放置するような場合に使います。
- **余熱乾燥モード**
乾燥行程に入ると、前行程（加熱すすぎ）の余熱で乾燥させます。ヒーターもファンも使用しないため、電気代は一番少なくてすみますが、乾燥の仕上がりは劣ります。
乾燥行程が不要なときでも、このコースを選んでください。

その他の機能

機能	手順と確認
(1)音声報知の音量調節 ・音声報知の音量は「大･中･小」の3段階に調節できます。また、音声報知をブザー報知に切り替えることができます。 ・音声報知の音量の設定は、電源を切っても記憶されます。 ・ブザー音は消すことができません。 ・お客様に注意をうながす報知は消すことができません。 例 音声：『**庫内は高温です。注意してください。**』 （運転中にドアを開けたときや、運転終了後30分以内にドアを開けたときなど、庫内が高温の場合。）	**音量調節** 1.【電源】スイッチを『切』にしてください。 電源 2.【スタート／一時停止】スイッチを押しながら【電源】スイッチを押すと音量は下記のように切り替わります。 電源　スタート 一時停止 大 → 中 → 小 → ブザー報知 → 大 ・セットされた音量を音声でお知らせします。 例 音声：『**・・・音量を小にセットしました。**』
(2)運転終了報知を消すとき ・深夜の運転で終了報知を必要としないときに使用します。	**運転終了ブザーの解除とセット** 1.【電源】スイッチを『切』にしてください。 2.【電源】スイッチを2秒以上押し続けてください。 電源 (2秒以上) **運転終了ブザー解除の場合** 音声：『**運転終了をお知らせしません。**』 **運転終了ブザーセットの場合** 音声：『**運転終了をお知らせします。**』

運転を開始したあとで

こんなとき	操作のしかた	確認
・スタート直後に食器を追加するとき。 **運転開始後5分以内に行ってください。運転開始後時間が経過して行うと、追加した食器がきれいに仕上がらないことがあります。**	【スタート／一時停止】スイッチを押し、ドアを開け食器を入れてください。 ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にしてください。 自動的に運転を再開します。	表示ランプの点滅で運転の再開を確認してください。
・洗浄コースを変更するとき。	【電源】スイッチを切ってください。 2～3秒間おいて【電源】スイッチを入れ、お好みのコースを選んで【スタート／一時停止】スイッチを押してください。 洗剤・乾燥仕上げ剤のふたが開いているときは、洗剤を入れてふたを閉じてください。	お好みのコースのランプの点灯を確認してください。

2 各コース別の所要時間のめやす

〔表1〕

運転コース	洗い（分）		すすぎ（分）				乾燥（分）			所要時間（分）	
	予洗い	本洗い（50/60Hz）	水すすぎ 1	2	3	加熱すすぎ（上段…標準すすぎ／下段…高温すすぎ）	乾燥モード	ヒーター乾燥（上段…標準すすぎ／下段…高温すすぎ）	送風乾燥（上段…標準すすぎ／下段…高温すすぎ）	50Hz	60Hz
標準	4	（14/12）約60℃	←→	- - -		約70℃…16／約80℃…26	標準乾燥	15／5		約49	約47
							強力乾燥	30／20		約64	約62
							送風乾燥		90／80	約124	約122
							余熱			約34	約32
念入り	5	（25/22）約60℃	←→	←→	←→	約70℃…21／約80℃…31	標準乾燥	20／10	5／5	約76	約73
							強力乾燥	60／50		約111	約108
							送風乾燥		90／80	約141	約138
							余熱			約51	約48
スピーディ		（9/8）約50℃	←→	- - -		約50℃…11／約80℃…26	※1 標準乾燥	10／2		約30 {約37}	約29 {約36}
							※1 強力乾燥	30／20		約50 {約55}	約49 {約54}
							※1 送風乾燥		90／80	約110 {約115}	約109 {約114}
							※1 余熱			約20 {約35}	約19 {約34}
快速		（5/5）約50℃	9				――			約14	
乾燥のみ							標準乾燥	60		約60	
							強力乾燥	90		約90	
予洗い	5						――			約5	

〔条件〕・電源電圧 AC100V、水圧0.3MPa（3kgf/cm²）、給湯60℃、室温20℃時のときです。
※1：スピーディコースの｛　｝内の時間は高温すすぎを選択した場合の時間を示します。

・所要時間について

・給水温度、給湯温度、季節などにより所要時間は**〔表1〕より長く**なります。**（所要時間＝〔表1〕＋〔表2〕）**

〔表2〕

運転コース	所要時間増減のめやす			
	※2 給湯60℃	給湯50℃	給湯40℃	給水時
標準	夏場 約△3分～冬場 約10分	夏場 約1分～冬場 約20分	夏場 約5分～冬場 約25分	夏場 約20分～冬場 約40分
念入り	夏場 約△5分～冬場 約2分	夏場 約5分～冬場 約10分	夏場 約5分～冬場 約20分	夏場 約15分～冬場 約35分
※3 スピーディ	夏場 約△2分～冬場 約5分 {夏場 約△1分～冬場 約15分}	夏場 約1分～冬場 約10分 {夏場 約1分～冬場 約15分}	夏場 約1分～冬場 約15分 {夏場 約5分～冬場 約25分}	夏場 約15分～冬場 約35分 {夏場 約25分～冬場 約50分}
快速	夏場 約△1分～冬場 約5分	夏場 約2分～冬場 約10分	夏場 約10分～冬場 約15分	夏場 約15分～冬場 約25分

※2：給湯60℃の夏場の時間（例：△5分）は表1よりも所要時間が短くなることを示します。
※3：スピーディコースの｛　｝内の時間は高温すすぎを選択した場合の時間を示します。

・運転時間および音声による運転時間の報知は、めやすとして参照してください。条件（水圧、給湯配管長さ、給湯器の性能など）により運転時間は変化します。
・ドライ運転は、ドライ運転が設定されているときに設定コース運転終了後、約2時間の間欠送風の繰り返しを行います。（ヒーターは入りません。）

お願い

給湯器に接続されている場合は、70℃以下の温度に調節してください。（60℃設定をおすすめします。）

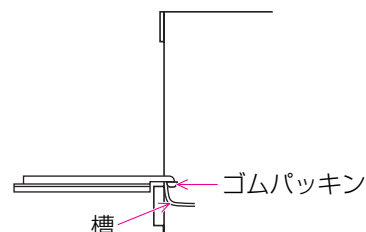
3 お手入れのしかた

◎月に一度は入念なお手入れをしてください。

⚠警告

運転中または、運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターにふれない
食器の取り出し、フィルターの掃除・お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをするおそれがあります。

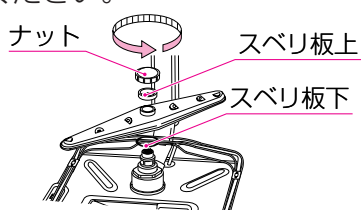
庫内を清潔に保つために

・よく絞った柔らかい布でふいてください。
・ドアの下端のパッキン（右図の矢印で示す場所）は、汚れがつきやすいのでお手入れを念入りにしてください。
・洗浄槽およびかごや小物入れに食べもののかすが残っているときは、きれいに取り除いてください。

【庫内が白くなった場合】
・市販のクエン酸や、クエン酸入りの『食器洗い乾燥機用庫内クリーナー』を使用する。
※庫内に白い成分が蓄積すると、故障の原因になります。
・『食器洗い乾燥機用庫内クリーナー』の使用方法を守ってください。
※誤った使用方法で使った場合、クリーナーの効果が得られないことがあります。
・クエン酸または庫内クリーナーの使用方法（例）
①食器を取り出し、残さいフィルターを掃除して、正しくセットする。
②[標準]コースで約5分運転し、【スタート／一時停止】スイッチを押し、運転を一時停止する。
③ドアを開け、クエン酸または庫内クリーナーを庫内に入れ、ドアを閉める。
④再度【スタート／一時停止】スイッチを押し、終了するまで運転する。

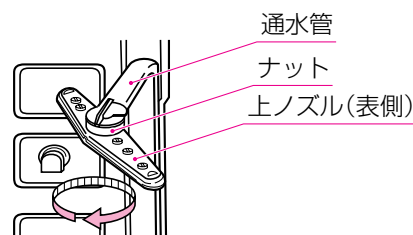
ノズルの掃除

・ノズルを取り外し、水洗いして異物を落としてください。

下ノズルの外しかた

・スベリ板をなくさないように注意して取り外してください。

※ナットを左に回して外します。

上ノズルの外しかた

・裏側中心付近の小さな穴も掃除してください。

※通水管を支えながらナットを左に回して外す。
（ナットは上ノズルから外れません。）

・ノズルの取り付けは、外したときの逆の手順で行い、確実に取り付けた後、ノズルが手で軽くまわることを確認してください。

ドアや操作パネル部の掃除

・ドアや操作パネル部の汚れは、よく絞った柔らかい布でふき取ってください。
・掃除をするときは、水をかけないでください。
・ベンジン・シンナー・クレンザー・ワックス・弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすらないでください。
・化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

3 専用洗剤・乾燥仕上げ剤について

専用洗剤について

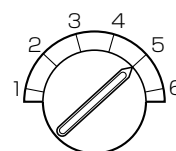
・必ず石けん成分を含まない食器洗い乾燥機専用洗剤を使用してください。
　※ジェル・液体洗剤は使用できません。
・台所用液体洗剤・重曹は少量でも使用しないでください。

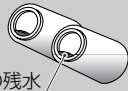
推奨専用洗剤
・フィニッシュ
・ジョイ

※一般の台所用液体洗剤では、泡の異常発生で正しく作動せず、故障の原因になります。
（台所用液体洗剤を食器を入れる前に使用した場合は、十分に食器をすすいでから入れてください。）
※重曹を使用すると、重曹が固まり故障の原因になります。
※食器洗い乾燥機専用洗剤でも、石けん成分が含まれている洗剤では、庫内に石けん成分などが残ったり、洗い上がりが悪くなる恐れがあります。
※タブレット洗剤を使用する場合は、洗剤投入器に入れて、ふたを閉めてください。（ふたが閉まらない大きいタブレットは使用できません）

乾燥仕上げ剤について

・加熱すすぎ時に自動的に出ます。
　水切れをよくし、水滴跡が少なくなり美しく仕上がります。

乾燥仕上げ剤投入量のめやす
・乾燥仕上げ剤の出る量は調節つまみにより6段階に調節できます。
　※通常は目盛り「5」でお使いください。（約1.1mL出ます。）
　　目盛り「3」は目盛り「5」の約半分
　　目盛り「6」は目盛り「5」の約1.5倍の量が出ます。

推奨専用洗剤
フィニッシュリンス

専用洗剤・乾燥仕上げ剤のお求めは…

・付属の専用洗剤・乾燥仕上げ剤がなくなりましたら、お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットなどで購入してください。

故障かな？と思ったら

洗い上がりについて

状　況	原　因	対処方法
○洗いあがりが悪い。 ○汚れが食器に残る。	○食器を重ねて入れていたり、セット方向がまちがっている。 ○下カゴに入れた食器がはみ出してノズルの回転を止めている。	○食器を正しくセットする。 （☞ 8〜10参照）
	○下かごの前後が逆になっている。	○正しく下かごをセットする。 （☞ 8参照）
	○焦げつきやこびりついた汚れがついた食器をそのまま入れている。	○こすりおとしてから入れるか、手洗いする。
	○残さいフィルター、上下ノズルが目づまりしている。	○残さいフィルター、上下ノズルをお手入れする。 （☞ 12・17参照）
	○推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。 ○洗剤の量が少ない。 ○ジェル・液体洗剤を使用している。	○推奨専用洗剤を正しく入れる。（約9g） （☞ 11・18参照）
	○洗剤入れに専用洗剤を入れていない。	○洗剤入れに専用洗剤を入れる。 （☞ 11参照）
	○地下水などミネラル分の多い水を使用している場合。	○専用洗剤を多めに入れる。 ○乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 11・18参照）
	○コースの選択が適切ではない。	○食器の汚れに応じた正しいコースを選択する。 （☞ 13〜14参照）
○洗剤が溶け残る。	○洗剤を入れすぎている ○固形（タブレット）洗剤を使用して、快速コースやスピーディコースを運転している。	○固形（タブレット）洗剤を使用する場合は、標準コースや念入りコースで運転する。 ○推奨専用洗剤を正しく入れる。 （☞ 11〜18参照）
○食器が黄ばんだり、黒ずんだりする。	○水に含まれている鉄分や茶しぶのため。	○ときどき食器をこすって洗ったり、漂白する。 ○茶しぶは洗いおけなどで漂白する。
○プラスチック食器が変形する(お椀、弁当箱、など)。	○耐熱90℃以下のプラスチック食器をセットした。 ○プラスチック密閉容器のふたを入れた。	○耐熱90℃以下のプラスチック食器を入れない。 （☞ 7参照）
○ガラス製の食器類が白くくもる。	○表面に小さな傷やひびが入った食器類を高温の洗浄水で洗うと浸食が進み、まれに白くなることがある。	○表面に小さな傷やひびが入った食器は入れない。 （☞ 7参照）
	○クリスタル製食器は白くくもることがある。	○クリスタル製食器は入れない。 （☞ 7参照）
	○油分や玉子などが多く食器に残っている場合、白くくもることがある。	○専用洗剤を多めに入れる。 ○「念入り」コースにて運転する。
	○ミネラル分で白くくもることがある。	○ときどきレモン汁や酢をつけて手洗いする。
○食器に灰色・黒色・銀色の線がつく。	○食器をかごに押し込んで入れている。 ○食器をかごに入れた際、食器にかごの色が付いている。	○食器を無理に押し込まない。 ○食器の種類によっては色が付きやすい場合があり、この場合は使用をひかえる。 ○食器に付着した色は、やわらかい布を用いて、重曹などでこすって拭きとる。

乾燥仕上がりについて

状　況	原　因	対処方法
○庫内に水滴が残る。	○庫内の天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。 異常ではありません。	○乾燥の設定を「強力乾燥」もしくは「強力乾燥＋ドライ」を選択して運転する。 （水滴の残りが緩和されます。） ○乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 18ページ）
○ガラス食器に水滴のあとが残る。	○洗剤やすすぎ不足のせいでなく、水に含まれているミネラル分が原因で淡い水滴あとが残ることがあります。異常ではありません。	○ときどきレモン汁や酢をつけて手洗いする。 ○乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 18ページ）
○食器の糸底部に残水がある。 糸底部の残水	○食器のセットのしかたや形状によっては水滴が若干残ることがあります。 異常ではありません。	○ふきんで残水をふき取る。 ○ドライ運転をする。 （☞ 12ページ）

においについて

状　況	原　因	対処方法
○排水溝のようなにおいがする。	○残さいフィルターに残さいなどが残っている。	○残さいフィルターを歯ブラシなどでていねいに洗う。
	○長時間使用されなかったり、「乾燥のみ」コースをよく使用すると、排水経路内のにおいをふさいでいる水が蒸発し、異臭を放つことがある。	○「予洗い」コースで運転する。 ○食器を入れずに洗剤やレモン汁・お酢を入れて「予洗い」コースで運転する。 ○お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売している「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用する。 （☞ 17ページ）
○乾燥時のにおい	○残さいや油分が、ヒーターやヒーターカバーに付いた場合、熱が加わるとにおいがする。	○推奨専用洗剤を多めに入れる。
○魚などのにおい	○残さいフィルターに魚の皮などが残っている。	○残さいフィルターを歯ブラシなどで洗ってください。 ○あらかじめ食器から魚の皮などを取って入れ

製品ついて

状　況	原　因	対処方法
○庫内に泡が多量に発生している。	○台所用液体洗剤を少量でも使用した。 ○食器に付いた台所用液体洗剤をすすがないで入れた。	○推奨専用洗剤を使用する。 （☞ 18ページ） ○異常報知が発生したらお買い上げの販売店に連絡する。
○庫内が白くくもっている。	○水に含まれているミネラル分のためで異常ではない。	○お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売している、「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用する。 （☞ 18ページ）
	○石けん成分が含まれている専用洗剤など、推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。	○推奨専用洗剤を使用する。 （☞ 18ページ）
○ヒーターの上にプラスチック食器が落下し、固着した。	○プラスチック製などの軽い食器が洗浄水の噴射で飛ばされた。	○販売店に連絡する。 ※軽い食器は入れないでください。

故障かな？と思ったら

サービスマンを依頼される前

状　況	原　因	対処方法
○運転しない。	○停電している。 ○運転途中に停電した。	○下表「停電」参照
	○機器用屋内ブレーカーが『切』になっている。	○下表「ブレーカー（機器用）が作動したとき」参照
	○ドアが開いている。 ○ドアのレバーが確実に『とじる』の位置になっていない。	○ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にする。
	○電源を『入』にしていない。 ○【スタート/一時停止】スイッチを押していない。	○電源を『入』にし、【スタート/一時停止】スイッチを押す。
○給水しない。	○給水栓が閉じている。 ○断水または凍結している。	○給水栓を開ける。 ○下表「断水」「凍結」参照

凍結・断水・停電・ブレーカー（機器用）が作動したときは

状　況	対処方法
○凍結	1．電源が『切』の状態で、庫内に60℃程度の湯水を約3L入れ、約60分～90分（室温15℃の場合）放置する。
	2．解凍後、【電源】スイッチを押し、電源を『入』にし、【コース】スイッチにて「標準」コースを選択し、運転を開始する。
	3．給水・排水および洗浄運転ができることを確認する。
○断水	1．【電源】スイッチを押し、電源を『切』にし、運転を中止する。
	2．断水が回復したら、他の蛇口からにごった水を流す。
	3．専用洗剤を入れ直し、はじめから運転する。
○停電	1．機器にさわらずそのままにする。
	2．停電が回復したら、自動的に停電前の状態から運転を再開する。 ※予約運転されている場合も、停電前から再開します。
○ブレーカー（機器用）が作動したとき	1．原因を対処した後、ブレーカー（機器用）を復帰させる。
	2．自動的に、ブレーカー（機器用）作動前の状態から運転を再開する。 ※予約運転されている場合も、停電前から再開します。

点検・お手入れ、他

3 異常報知について

◎音声報知やランプ表示で機器異常を知らせたときは、【電源】スイッチを押し、全てのランプが消灯したことを確認してから、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。

音声報知とランプ表示	内　容	処　置
音声：『**水漏れが発生しています。水道栓を閉めてください。点検修理が必要です。**』 **ランプ** 2時間・4時間・6時間ランプが**1回点滅** 2時間（点滅） □標準 □乾燥のみ 4時間（点滅） □念入り □標準乾燥 6時間（点滅） □スピーディ □強力乾燥 □快速 □送風乾燥 □予洗い □余熱	**漏水異常** 機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。	・機器の止水栓を閉めてください。水漏れの可能性がありますので、至急、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。 **※ポンプを稼動し強制的に排水しますのでブレーカー（機器用）を切らないでください。** 止水栓を閉める前にブレーカー（機器用）を切ると機器外（機器周辺）に水が漏れる場合があります。 機器の止水栓がわからない場合は、元水栓を閉じてください。(P4参照)
音声：『**水道栓が閉まっている可能性があります。点検してください。**』 **ランプ** 2時間・4時間・6時間ランプが**2回点滅** 2時間（点滅） □標準 □乾燥のみ 4時間（点滅） □念入り □標準乾燥 6時間（点滅） □スピーディ □強力乾燥 □快速 □送風乾燥 □予洗い □余熱	**給水異常** 断水や給水管が詰まっているか、水道管の凍結あるいは止水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。	・断水の場合は、断水が回復してから運転してください。凍結の場合は21ページを参照してください。 ・初めて使用される場合は、止水栓の開け忘れの可能性が高いので、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。
音声：『異常があります。点検修理が必要です。』 **ランプ** 2時間・4時間・6時間ランプが**3回点滅** 2時間（点滅） □標準 □乾燥のみ 4時間（点滅） □念入り □標準乾燥 6時間（点滅） □スピーディ □強力乾燥 □快速 □送風乾燥 □予洗い □余熱	**排水異常** 排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。	・残さいフィルターが、詰まっていないか確認してください。 ・初めて使用される場合は、排水ホースの接続方法に不具合がある可能性が高いので、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。
音声：『異常があります。点検修理が必要です。』 **ランプ** 標準・念入りランプが**1回点滅** □2時間 標準（点滅） □乾燥のみ □4時間 念入り（点滅） □標準乾燥 □6時間 □スピーディ □強力乾燥 □快速 □送風乾燥 □予洗い □余熱	・ドアを開けて庫内が白くくもっていないか確認してください。 **庫内が白い場合** 水に含まれているミネラル分です。お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売しているクエン酸やクエン酸入りの「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用してください。 ※お手入れのしかた、【庫内が白くなった場合】（20ページ）の使用方法（例）を守って使用してください。 ・クエン酸や、庫内クリーナー使用後、庫内の白いくもりがとれても同じランプ表示が出る場合、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。	

・上記処置をしても運転をしない場合や、上記以外の異常報知ランプ表示があった場合は、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。
このとき、どのような異常報知ランプ表示であったかについてもお知らせください。

特定保守製品と点検

■特定保守製品とは

本製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定される特定保守製品です。

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

■点検までの手順

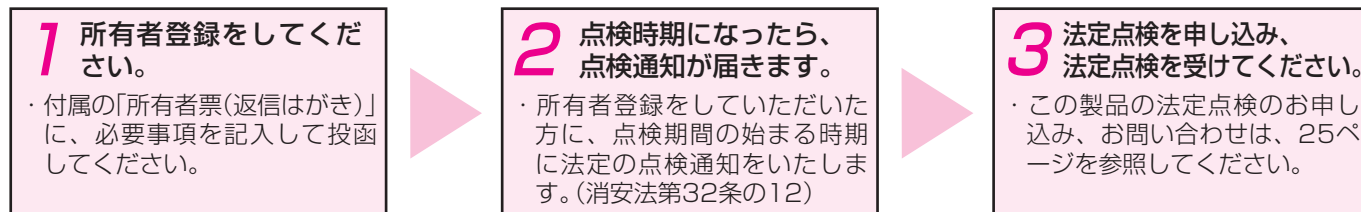
1 所有者登録をしてください。

・付属の「所有者票（返信はがき）」に、必要事項を記入して投函してください。

2 点検時期になったら、点検通知が届きます。

・所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします。（消安法第32条の12）

3 法定点検を申し込み、法定点検を受けてください。

・この製品の法定点検のお申し込み、お問い合わせは、25ページを参照してください。

■法定の点検期間になったら点検を受けてください

・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に、点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。
本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。（点検は有料です）
・なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので注意してください。
・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

■法定の所有者登録をしてください

・特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

■登録していただいた所有者情報に、変更がありましたらご連絡ください

・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められています（消安法第32条の8第2項）。
引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

■法定の点検通知をいたします

・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。
・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票（お客さま控え）」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。「保証期間」とは異なるので注意してください。（保証期間は保証書を参照願います。）

＜設計標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

1） **始期**・・・ 製造年月
2） **終期**・・・ 日本電機工業会自主基準HD-116-1［電気食器洗機（ビルトイン式）］に基づいて、想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験などを行い、その結果算出された数値などに基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件

項　目		条　件	備　考
環境条件	電源電圧	単相100V	
	周波数	50および60Hz	
	温度	20℃	中間期（春・秋）
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件	お皿	標準食器負荷	取扱説明書に記載の負荷
	コース	標準コース	製造事業者が指定する洗浄から乾燥までのコース
	給水圧力	0.03～1.0MPa	
	給湯・給水	5℃～60℃	60℃給湯がある
想定時間	1年間の使用日数 1日の使用回数 1回の使用時間	365日 2回 取扱説明書による	

《ご注意ください》

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用など本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、25ページの「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

■点検について

法定点検は、ハーマンまたはハーマンが委託した事業者が行います。

【点検の内容について】

・特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
・点検基準とは消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
・点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
・点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

・点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。
なお、点検料金の設定の基準などや、点検要請に対して速やかに対応できるよう全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

http://www.harman.co.jp/houtei/hoshu.html

※インターネットでご確認できない場合は、25ページの「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要になると見込まれる整備用部品の保有期間】

・整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。
各種整備用部品の保有期間は、製造打ち切り後11年間です。
［ポンプ　・ファンモーター　・基板　・ヒーター　・配線　・パッキン・Oリング］
※補修用性能部品の保有期間は、26ページを参照してください。

特定保守製品と点検

本製品の点検などに関するお問合せ先

株式会社ハーマン　点検受付センター

Tel：**0120−780−137**

【本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ】

製品を安全にご使用いただくために、月1回程度は、お客さまで日常的に点検やお手入れを行ってください。

＜点検・お手入れ前のご注意＞

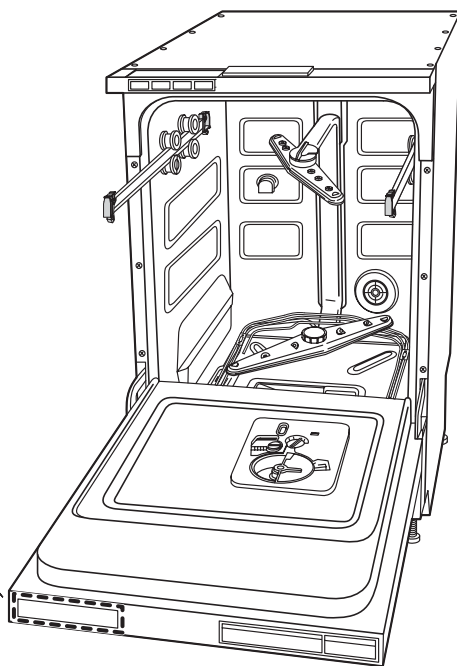
・電源を『切』にし、行ってください。
・製品の使用後は、製品や庫内が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから、点検・お手入れを行ってください。

＜点検・お手入れの内容＞

・17ページの「お手入れのしかた」および、安全上の注意に関する項目を参照してください。
・次のような症状があれば、経年劣化の兆候と考えられますので、下記「本製品の修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
　－運転中に機器から焦げくさい臭いがしたり、異常音が聞こえる。
　－機器外観に異常な変色がある。
　－機器・配管から水漏れがある。
・本製品の修理に関するお問合せ先：**株式会社ハーマン　コンタクトセンター（TEL：0120−38−8180）**

【任意の定期点検について】

・製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検（有料）をおすすめします。
詳しくは上記「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

■表示位置について

表示（例）

特定保守製品　　点検期間　２０２２年３月～２０２４年２月
製品名　ＦＢ４５０４　　製造年月　２０１３年３月
特定製造事業者等名　株式会社ハーマン　　設計標準使用期間１０年
大阪市此花区春日出南３－２－１０
問合せ連絡先　株式会社ハーマン　点検受付センター　０１２０－７８０－１３７

仕様・アフターサービス

仕　様

項目	内容	項目	内容	項目	内容
電源電圧	単相交流100V	使用水量（標準コース）	約21.5L	標準収納容量	大皿　8枚 中皿　8枚 小皿　10枚 茶わん　8点 吸物わん　8点 湯のみ　8点 コップ　8点 **計58点** 他に ナイフ・スプーン・フォーク・はし・しゃもじ・さいばし
周波数	50/60Hz共用				
消費電力	・ポンプモーター(50/60Hz) 洗浄時：145W/187W 排水時：147W/188W ・ヒーター　1080W ・最大消費電力(50/60Hz) 1225W/1267W	使用水圧	0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm^2)		
		洗浄方式	回転ノズル噴射式		
		すすぎ方式（標準コース）	水すすぎ　2回 加熱すすぎ　1回		
定格電流	50Hz：12.3A／60Hz：12.7A				
外形寸法	幅448mm×奥行580mm×高さ750mm	乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥		
製品の質量	約32kg				

修理のお申し込み

・19~21ページの「故障かな？と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
・確認のうえ、それでも不都合な場合は、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名コード　FB4504PC・FB4504PF・FB4504WC・FB4504WF
2. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
3. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

保　証　書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の保有期間

・この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期間は、製造打ち切り後10年間です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

保　証　書

品　名　コ　ー　ド	FB4504PC・FB4504PF・FB4504WC・FB4504WF

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
2．保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　(イ)　使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　(ロ)　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
　(ハ)　火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
　(ニ)　工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
　(ホ)　業務用の場所等(喫茶店、飲食店など)でご使用になられた場合。
　(ヘ)　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
　(ト)　塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
　(チ)　機器に表示してある電源(電圧・周波数)以外で使用された場合。
　(リ)　本書の提示がない場合。
　(ヌ)　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
　(ル)　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。

お　客　様	お　名　前	TEL
	ご　住　所〒	
保　証　期　間	お買い上げ　　年　　月　　日から1年間	
販　売　店	店　名	TEL
	住　所	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社ハーマン　〒554-0023
大阪市此花区春日出南3-2-10

年　月　日	修　理　記　録　(　修　理　内　容　)	サービス員㊞

愛情点検　長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！

こんな症状はありませんか
・水漏れがする。
・焦げくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
・本体に触るとビリビリ電気を感じる。
・その他の異常や故障がある。

▶ ご使用中止
事故防止のため、必ず販売店に点検をご依頼ください。

修理 点検 商品についてのお問い合わせは・・・

株式会社ハーマン コンタクトセンター　0120-38-8180（通話料金無料）
携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-780（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって下記の番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関するお問い合わせ	2 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ	3 商品に関するお問い合わせ・その他	4 交換部品(消耗品)に関するお問い合わせ
■ 修理受付センター	■ 点検受付センター	■ お客さま相談センター	
【受付時間】 365日24時間 修理受付 ※修理訪問は日中、地域により休日有り	【受付時間】 ※土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月〜金〉　9：00〜17：30	【受付時間】※年末年始を除く 〈　月〜金　〉9：00〜18：00 〈土・日・祝〉9：00〜17：00	【受付時間】 ※日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月〜土〉　9：00〜17：00
FAX (078)928-5499		FAX (078)927-5070	FAX (078)928-2311

個人情報の取り扱いについて	■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、サービス向上や製品開発等に利用させていただきます。 ■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。 ■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。 (1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合 (2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合 (3)法令等に基づく場合

(1307)